

教科名 (科目名)	理科 基礎化学(化学基礎)	履修学年	3 年	学科	普通・フロンティア 科
単位数(週当たりの授業時数)				2	単位

◆何ができるようになるか(教科・科目の目標)

物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。それと同時に、生徒の進路実現のための学力を養成することを目指す。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</li> <li>上記の技能を試される共通試験の対策として演習を繰り返し実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。</li> <li>上記の技能を試される共通試験の対策として演習を繰り返し実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</li> <li>授業に積極的に参加しているか、課された課題を主体的に取り組む姿勢、協力して問題解決しようとする。</li> </ul>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期考査</li> <li>○レポート・課題</li> <li>○話し合い・発表・振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○定期考査</li> <li>○レポート・課題</li> <li>○話し合い・発表・振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○レポート・課題</li> <li>○話し合い・発表・振り返り</li> </ul>

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定(概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	3
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	1

◆何で学ぶか(教材等)

【教科書】	ニューアチーブ 化学基礎
【副教材】	セミナー化学基礎(第一学習社)

◆どのように学ぶか(授業方法、学習方法)

○教科書の内容を、問題集を用いて演習を進めます。できれば教科書を読み簡単に予習をします。さらに、授業中の演習や問題集を用いて演習をしていきます。授業中に大事なところをさらに調べたりすると理解が深まります。  
○生徒実験を実施します。教科書の内容を実際に確認したり、実際に器具を操作することで理解が深まります。また実験報告の簡単な書き方を学習します。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学 期	4月	物質の成分と構成元素の演習	単元テスト  単元テスト 期末テスト 単元テスト	単元テスト  単元テスト 期末テスト 単元テスト	レポート 授業での発表 授業での行動
	5月	原子の構成と元素の周期表の演習			
	6月	化学結合の演習			
	7月	物質と化学反応式の演習			
2 学 期	8月	酸と塩基に関する復習・演習	単元テスト  単元テスト 期末テスト	単元テスト  単元テスト 期末テスト	レポート 授業での発表 授業での行動
	9月				
	10月	酸化還元反応に関する復習・演習			
	11月	共通試験対策			
	12月				
3 学 期	1月	共通試験対策			
	2月				
	3月				